

県下の交通事故

(平成8年6月20日現在)

年別	区分	発生件数	死者	傷害
平成7年		2,369件	42人	3,124人
平成8年		2,406件	41人	3,141人
比較		+37件	-1人	+17人



◇ 第113号 ◇  
 発行所  
 〒400 甲府市丸の内一丁目9-11  
 県民会館2階  
 財団法人 山梨県交通安全協会  
 TEL 甲府 (0552) 32-4682  
 (0552) 37-7827



横転して道路を塞いでしまったトラック(中央道)

# 夏の交通事故防止県民運動

## 7月20日(土)から 8月20日(火)まで

### 運動の重点

- 一、子どもと高齢者の交通事故防止
- 二、若者の無謀運転及び暴走族の追放
- 三、シートベルトの着用の徹底

夏の行楽シーズンに入り、交通事故の多発や若者による無謀運転が心配されています。  
 この運動は、県民一人ひとりに交通安全知識を普及して交通安全意識を高め、交通ルールとマナーの実践を習慣づけて、交通事故や暴走族を追放しようと山梨県が独自に設定した県民運動です。

### ゆとりとマナー 今日とさわやか

#### 甲斐の路

●**県内の今年の交通事故発生状況は**、六月二十日現在、発生件数二、四〇六件で三十七件増、死者は四十一人で一人減、傷者は三千四百四十一人で十七人の増となっています。死者は若干減少しているようですが、件数と傷者の増加は例年下半期に死者が増勢に転じているだけに心配されます。

特に七、八月中は、暑さによる疲れや行楽車両の加わる大量走行で交通事故の多発が気になります。待ちにまつた楽しい夏休みを悲しいものにしてしまわないよう、交通安全の第一の原因は、交通安全

●**子どもと高齢者の交通事故防止**  
 子ども(十五歳以下)の死者が増えており、ほとんどが歩行中です。昨年は四人の死者のうち三人が歩行中でした。今年も死者は現在一人ですが、道路を横断しようとしたときの事故でした。

●**若者の無謀運転及び暴走族の追放**  
 若者(十六歳から二十四歳)が第一当事者となった事故による死者は十四人で、全死者の三五%を占めています。原因は、技量の過信がほとんどです。自戒して

●**シートベルトの着用の徹底**  
 シートベルトは万が一事故に遭ったときに、大切な命を守ってくれます。しかし県内のシートベルト着用率は七八% (四月の調査)で、約十万人のドライバーは着用していません。

●**安全のために**  
 「暮らしの中の経済」とよく言われますが、こんなにも車が増え交通事故が増えているのですから「くらしの中の交通安全」が言われてもいいのですが、それがほとんど言われていません。なぜでしょうか。まず第一の原因は、交通安全

### くらしの中の交通安全

交通安全対策室長 丸山誠吾



「安全のために」とよく言われますが、こんなにも車が増え交通事故が増えているのですから「くらしの中の交通安全」が言われてもいいのですが、それがほとんど言われていません。なぜでしょうか。まず第一の原因は、交通安全

安全と考えるのは間違いない。安全は事故の一手前と考える。安全と事故はほんの紙一重の違い。高齢者が出かけるときも「気をつけてね」と、ひと声かけてやる。交通安全家族会議なんてかたがた言っているだけでは、毎日くらしの中で気軽に注意し合おう。またそれを素直に聞くようにする。これが大切ではないでしょうか。

▼**県民会館前のスクランブル交差点**では、歩行者用の信号が青になるたびに「自転車に乗って通ることはできません」と放送をくり返していますが、相も変わらず自転車の乗って渡っていく人が殆どです。また、後部ハブステップに足をかけて立っている二人乗り、左側の逆走行、無灯火での疾走等々法無視走行の自転車の多いこと。

▼**果ては、左側逆走行の自転車に危険を感じ、下車して左へ避けた自転車**が「なんていう走り方だ。危ないじゃないか」と怒鳴られたというような話もよく聞かれます。

▼**去る六月九日、交通安全全子ども自転車大会**が開かれましたが、その中の学科テストでは、六十問、六百点満点が八十五人中十人も出るという好成绩でした。しかし、「自転車の通るところで正しいのは」という問題で、「道路工事などの場合を除き、車道の左端にそって通行する」という正しい答えを間違えた選手が十人もおり、ハッとさせられました。巷間の自転車走行の乱れは、あながち「法軽視」というだけではなく、基本的な「法不知」によるものも多いように思われます。

▼**自転車の正しい乗り方を身につけること**は、自動車の安全運転にもつながります。自転車の愛用者一人ひとりに、自重し欲しいと願っています。(次号から筆者は交替します)



# 交通安全に全力傾注

## 平成七年度の事業・決算を承認

### 県安協理事・評議員会開く

県交通安全協会は、五月二十二日中巨摩郡昭和町のアビオで理事・評議員会を開き、平成七年度の事業報告及び収支決算報告を承認しました。今年に役員改選期でしたが、現役員は全員留任とされ、欠員となっていた監事に山下譲二氏（南甲府安協副会長）が選任されました。

理事・評議員会では、務め、開会にあたっての志村哲良会長が欠席されたため、山下道男副会長（大月安協会長）が代理を

あいさつでは、春の全国交通安全運動での活躍を深謝したあと、「昨年引き続き続いて交通事故死者を二桁に抑え込み、これを定着させていきたい。そのためには、シートベルトの着用率の向上と高齢者の交通事故防止がカギである。夏の事故多発期を迎えるので全力を投じて交通安全活動に取り



県安協の理事・評議員会議（アビオ）

最後に、県警小林聖司交通部長から、県内の交

## 樋口氏(甲府)ら10人と小笠原安協 ~関東管区表彰に輝く~



表彰式の会場で記念撮影（東京・虎ノ門パストラル）

通情勢について説明を受け閉会しました。各理事・評議員は、交通安全活動のより強力な推進に思いを新たにしたいと、各々、各々、各々の

また、交通安全功労者のご夫人には、管区安協連合会長から感謝状が贈られました。

本県関係の受賞者は次のとおりです。（敬称略）

樋口辰雄（甲府）、萩原幸雄（南甲府）、青柳武榮（小笠原）、遠藤正二郎（諏訪）、近藤雅俊（南郡）、依田孝夫（市川）、和田照次（日下部）、石川外史子（塩山）、伴新（富士吉田）、天野恭（大月）

優良交通安全協会 小笠原交通安全協会

優良職員 松田良一（会長）

岩間寿子（安全運転学校）、井上孝江（富士吉田安協）

## 原付等の講習推進を 県二推委員会



二推委員・幹事合同会議（ニュー機山）

山梨県交通安全協会・山梨県二輪車安全運転推進委員会では、四月三十日甲府市内のニュー機山で委員・幹事合同会議を開き、平成八年度の事業計画等を決めました。

会議には、委員・幹事十七人が出席し、まず酒井澄男二推委員長あいさつ、県警交通課清水徹課長補佐による県内における二輪車交通事故の状況の説明を受けたあと、平成七年度の事業報告を承認し、続いて平成八年度の事業計画について協議しました。

その結果、

- 自動二輪車安全運転講習の継続実施
- 原付免許取得時の法定講習の実施
- 高校生二輪車安全運転講習の実施
- 新制度「原付等講習」の実施
- 二輪車安全運転大会の開催
- 交通安全運動等での街頭指導の実施
- 交通安全運動等での街頭指導の実施

等々を決定しました。新制度の「原付等講習」は、現在原付車を使用している人の希望により安全運転講習を行うもので、受講料は三千円です。ご希望される方は、最寄りの警察署交通課へお問い合わせください。

## 死者は減少 春の交通安全運動

春の全国交通安全運動は、四月六日から十五日までの十日間「子どもと高齢者の交通事故防止」と「シートベルトの着用」の徹底の二つを運動の重点として県民総ぐるみで取り組まれました。その結果は次のとおりでした。

○行事等への参加者 警察官 三、二〇〇人 交通関係機関・団体 二一、五〇〇人

○期間中の交通事故 発生 七六件（一八減） 死者 一人（二人減） 傷者 九六人（一六八増）

○子どもの交通事故 発生 七件（五件増） 死者 なし（増減無し） 傷者 七人（五人増）

○高齢者の交通事故 発生 三件（四件減） 死者 なし（一人減） 傷者 三人（六人減）

○シートベルト着用率 走行車両は七八％で昨年十月の調査時より一八ポイント向上。

## 無事故・無違反競う チャレンジ200開始式

県交通安全推進協議会主催、県警察、県安協等交通関係機関、団体協賛の「平成八年度シートベルト着用・チャレンジ200」が、六月十五日スタートしました。この日から十二月三十一日までの二百日間、十人で構成されたチームが無事故無違反を競う文字どおり参加・実践型の交通安全活動です。

今年が第四回目ですが、関心が高まり、参加チームは一千三十六チーム、一万三千三百六十人、



チャレンジ200の開始式（県庁正面玄関前）

## 平成七年度事業報告

一 交通安全運動の実施  
 (一)春・秋の全国交通安全運動で、黄色い羽根・ポスター・ピラ等配布  
 (二)夏・年末年始交通安全県民運動に賛助  
 (三)交通安全功労者等表彰  
 (四)5・20 東京虎ノ門パストラルで功労者十人、優良安協一が受賞  
 (五)優良指導員表彰  
 (六)10・29 免許センターで指導員三人、準指導員五人を表彰  
 (七)交通安全県民大会での表彰  
 (八)1・23 県民会館で〇管区表彰伝達、二団体十一人、〇緑十字銅章伝達百九十八人、〇県安協表彰、十九団体、三百六十七人を表彰  
 (九)第35回交通安全国民運動中央大会での表彰  
 (十)1・30 日比谷公会堂

二 交通安全功労者等表彰  
 (一)緑十字章二人、銀章五人、優良団体二が受賞  
 (二)全日交優良指導員表彰 8・3・7 虎ノ門パストラルで特別指導・指導員各一人が受賞  
 (三)二輪車・自転車交通安全対策の推進  
 (一)春・秋の全国交通安全運動で街頭指導を実施  
 (二)5・2 県二推委員会・幹事合同会議、5・10 高校生原付講習打合せ、4・27 県自転車安全推進委員・幹事会議開催  
 (三)5・28 第25回二輪車安全運転大会を開催、七十五人が参加、優勝者が全国大会に出場  
 (四)6・11 第26回交通安全子ども自転車大会を開催、弁論発表集発行

三 交通安全功労者等表彰  
 (一)17チームが参加、優勝した万沢小学校が全国大会に出場  
 (二)自動二輪車安全運転講習を年間三十二回実施  
 (三)高校生原付講習を年間三十三回実施  
 (四)自転車安全教室を年間三百五十六回開催  
 (五)二輪ライダー必携、あなたの手帳に貼って  
 (六)全日交等中央関係 全日交・管区安協連合会、管区専務事務局長会議、管技協支所長会議、一都十県会議等十六回開催  
 (七)県安協関係 理事会、理事・評議員合同会議、研修会、ブロック研究会、三交会議、安全運転学校連絡会議等二十一回開催  
 (八)その他 道法車両けん引百二十七台、道路調査八千三百六十件等

**自転車に遭わないために 完全に点検・整備された安全な自転車を!!**

- 点検・整備された安全な自転車は、県下248の安全整備店で扱っています。
- TSマークは、点検・整備された自転車の印です。
- TSマーク付自転車に乗車中に交通事故に遭い受傷すると、見舞金が贈られます。

山梨県自転車軽自動車商協同組合 甲府市飯田5丁目12-9 0552-22-9207



### 自転車事故が多発 ルールを守り、安全走行を

自転車は、手軽で便利な乗り物として子どもから高齢者まで幅広く利用されていますが、県内では自転車の関係する交通事故が増えています。六月二十日現在、自転車事故による死者は四人で昨年中の数より一人増も増加しています。

①「歩行者・自転車専用」の表示があるときは、その信号に従う。  
②「歩行者・自転車専用」の表示がないときは、その信号に従う。

二、信号機の有る交差点、歩行者用の信号に従う。  
三、信号機の有る交差点、歩行者用の信号に従う。  
四、左折は、安全確認・左折合図をし、道路の左端に寄って曲がる。  
五、右折は、信号機がある場所では、青で向こう側へ進み、右に向きを変え、前方の信号青で進む。  
六、信号が無い場所での右折は、安全確認・右折合図をし、道路左端に寄って向こう側へ進み、十分速度を落とし曲がる。  
七、直進、左折、右折とも自動車に巻き込まれないよう注意する。  
八、横断には十分注意する。

上「車両」であって、特別な定めがない限り、自動車と走り方は同じです。自転車は左側通行です。

二、信号機の有る交差点、歩行者用の信号に従う。  
三、信号機の有る交差点、歩行者用の信号に従う。  
四、左折は、安全確認・左折合図をし、道路の左端に寄って曲がる。  
五、右折は、信号機がある場所では、青で向こう側へ進み、右に向きを変え、前方の信号青で進む。  
六、信号が無い場所での右折は、安全確認・右折合図をし、道路左端に寄って向こう側へ進み、十分速度を落とし曲がる。  
七、直進、左折、右折とも自動車に巻き込まれないよう注意する。  
八、横断には十分注意する。

### この自転車2台は 交通ルール違反です!!



県民会館前のスクランブル交差点は、歩行者が通行してよい時に、自転車は乗って通行することはできません。

### 万沢小全国大会へ(連続3回) 交通安全子ども自転車県大会

県警察本部と県交通安全協会共催の第27回交通安全子ども自転車山梨県大会は、六月九日(日)昭和町押原小学校で開かれました。

この大会は、小学校児童に対する自転車の安全教育の効果を高めるため、競技を通じて交通安全知識を身につけさせ、交通事故防止を図ろうとする参加体験型の交通安全教育の一環として行われているものです。

大会には、県内十四交通安全協会の代表十四校十七チーム、八十五人の選手が参加しました。



技能走行で奮闘する選手(押原小体育館)

学科テストの満点者は十人で昨年より四人増、実技走行も満点者が一人出るという好成績でした。

優勝した万沢小学校チームは、八月六、七日に東京で開催される全国大会へ県代表として出場します。ご声援ください。入賞した団体・個人は次のとおりです。

- 団体**
- 優勝(知事賞、管区局長・安協連会長賞) 万沢小学校(A)
  - 準優勝(県会議長賞) 高根東小学校
  - 準優勝(警察本部長賞) 敷島南小学校(B)
  - 準優勝(県教育長賞) 敷島南小学校(A)
  - 曙小 学校
  - 六位 万沢小(B)、七位 猿橋小、八位 富士小、九位 押原小(B)、十位 押原小(A)
- 個人**
- 優勝(警察本部長・県安協会長賞) 佐野 洗基(万沢小)
  - 準優勝(警察本部長・県安協会長賞) 光啓(猿橋小)
  - 望月弘貴(万沢小)
  - 遠藤 賢(万沢小)
  - 車 先進(敷島南小)
  - 向井秀仁(高根東小)
  - 六位 長田義勝(敷島南小)、七位 青山純(敷島南小)、八位 新井麗子(万沢小)、九位 塚本光啓(猿橋小)、十位 鈴木まゆみ(万沢小)

### 全国大会へ向け五十人が競う 二輪車安全運転県大会

山梨県交通安全協会・山梨県二輪車安全運転推進委員会主催の第26回二輪車安全運転山梨県大会は、六月二十三日八田村の運転免許センターで開かれました。

参加者は日ごろ二輪車を愛用している五十人で、八月三、四日の両日、鈴鹿サーキットで開かれる全国大会への出場に夢をかけて、安全運転の技量を競い合いました。

競技種目は、一般B(四〇〇cc超)、一般A(四〇〇cc以下)、高校生(二二五cc以下)、女性(二二五cc以下)の四クラスにわかれ、安全(法規)走行と技能走行の二種類です。

- 技能の結果は次のとおりで、各クラスの優勝者計四人は、全国大会での優勝を目指して特訓中です。ご声援ください。**
- 一般Bクラス**
- 優勝(知事賞) 保坂 敏
  - 準優勝(県安協会長賞) 矢嶋 尊
  - 四位 興石 栄
  - 五位 中野富士男
- 一般Aクラス**
- 優勝(県会議長賞) 細川 眞二
  - 準優勝(県安協会長賞) 広瀬 義樹
- 高校生クラス**
- 優勝(県警察本部長賞) 航空 青木 満昭
  - 準優勝(県安協会長賞) 航空 中沢 大幸
  - 五位 武井 孝幸
  - 六位 早川 雅子
- 女性クラス**
- 優勝(県安協会長賞) 平塚 由理
  - 準優勝(県安協会長賞) 飯窪 啓子
  - 四位 早川 雅子

### シグナル

「見過ごし、見落とし、見誤り」いずれも事故に直結する原因となるものです。

「遠くて近いは男女の仲」などと言いますが、交通事故で言うならば、「遠くて近いは対向車」なのです。

それには、ちゃんとした理由があります。そもそも人間のスピード

「見過ごし、見落とし、見誤り」いずれも事故に直結する原因となるものです。

「遠くて近いは男女の仲」などと言いますが、交通事故で言うならば、「遠くて近いは対向車」なのです。

それには、ちゃんとした理由があります。そもそも人間のスピード

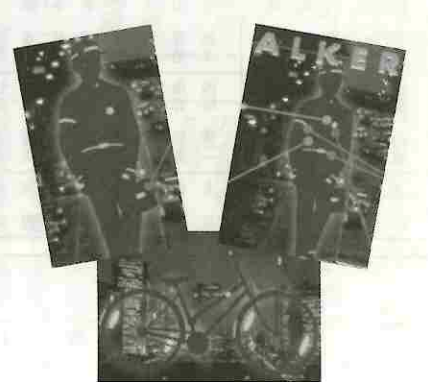
遠くて近いは対向車

その上で、交差点を直進して行く対向車は、目の前を右左折する車に比べてスピード感がないので、速く見えるのは、自分の

実際の速度と必ずしも一致しません。

例えば目の前を通り過ぎる自転車が、はるか遠くを走る新幹線より速く見えるのは、自分の

### 夜の歩行者事故増加 反射材で安全と安心を 見舞金付も発売中



昨年中の県内での歩行者の死者のうち、夜の事故は六七%という高率でした。今年の県内での歩行者の死者は六月二十日現在、十八人ですが、そのうちの九人は夜の事故によるもので五〇%。寝

苦しい真夏日となりますので増勢が心配されます。夜の事故から身を守るためには、自動車のライトにピカリと光る反射材の着用が有効です。県交通安全協会では、反射材を普及して夜の歩

行者事故を少しでも減らそうと、県下各交通安全協会のご協力を得ながらご意向に叶う反射材の販売に努めています。

今年の五月から取り扱った品目が増え、五十四品目となりました。また、反射材を着用して万が一、車にはねられて死傷したときには、五十万円から十万円の見舞金が贈られる見舞金付反射材も扱っています。

県安協事務局(県民会館二階)と県下各交通安全協会の窓口(各警察署内)にはカタログと一部見本もありますのでご相談ください。

- 競技の結果は次のとおりで、各クラスの優勝者計四人は、全国大会での優勝を目指して特訓中です。ご声援ください。
- 一般Bクラス**
- 優勝(知事賞) 保坂 敏
  - 準優勝(県安協会長賞) 矢嶋 尊
  - 四位 興石 栄
  - 五位 中野富士男
- 一般Aクラス**
- 優勝(県会議長賞) 細川 眞二
  - 準優勝(県安協会長賞) 広瀬 義樹

- 高校生クラス**
- 優勝(県警察本部長賞) 航空 青木 満昭
  - 準優勝(県安協会長賞) 航空 中沢 大幸
  - 五位 武井 孝幸
  - 六位 早川 雅子
- 女性クラス**
- 優勝(県安協会長賞) 平塚 由理
  - 準優勝(県安協会長賞) 飯窪 啓子
  - 四位 早川 雅子

財団法人  
山梨県交通安全協会経営  
公認 **山梨自動車学校**  
中巨摩郡八田村野牛島1828  
(運転免許センター内)  
TEL (0552) 85-0752

自動車や原付自転車には  
必ず自賠責保険を  
任意の自動車につけよう。  
損害保険代理店  
**株式会社 たいよう共済山梨支店**  
甲府市丸の内2丁目32-13  
日東ビル4階  
TEL0552-28-0691



### 地区だより

#### 春の全国交通安全運動

春の全国交通安全運動は、四月六日から四月十五日までの十日間、「子どもと高齢者の交通事故防止」と「シートベルトの着用徹底」を運動の重点として行われました。県下の各交通安全協会では、各種活動の中心となつて活躍をいたした。本当にご苦労さまでした。期間中の皆さんの活躍ぶりをご紹介いたします。



シートベルトアドバイザー委嘱式(南甲府)



JR甲府駅頭で黄色い羽根を配布(甲府)



街頭指導所で安全運転を訴える中富原保育園児(鯉沢)



清里で長野県南佐久安協と合同で街頭指導(長坂)



会長を先頭に交通安全甲州軍団パレード(韮崎)



高齢者への反射材の贈呈(小笠原)



山梨市駅前での街頭指導の状況(日下部)



街頭指導をしている安協役員(石和)



街頭指導所で安全運転を呼びかける(市川)



安全運転を呼びかける安協役員(南部)



大月市内を交通安全パレード(大月)



山中湖畔の国道で街頭指導(富士吉田)



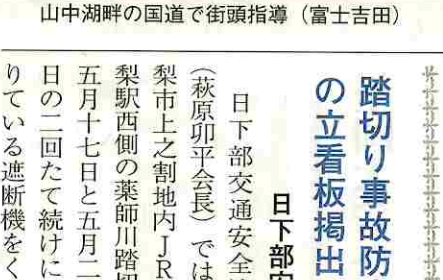
街頭指導でシートベルトの着用を訴える(都留)



座禅の警策を模したミニ看板でシートベルト着用をPR(塩山)



神奈川県との県境で街頭指導(上野原)



踏切に掲出された警告用看板(日下部)

#### 踏切り事故防止の立看板掲出

日下部交通安全協会(萩原卯平会長)では、山梨市上之割地内JR東山梨駅西側の薬師川踏切で、五月十七日と五月二十五日の二回続けて、降りている遮断機をくぐり

抜け、通過中の電車にはねられるという悲惨な踏切り事故が発生したことから、日下部警察署の指導を受け五月二十九日、両側の遮断機のそばに各一本、計二本の警告用看板を掲出しました。スピーディーな対応に地域では喜ばれており、効果があるものと期待されています。

#### キラキラピカピカ作戦 見舞金付き反射材三、四六〇個 小学校高学年等に贈る

##### 市川安協

市川交通安全協会(八木吉治会長)では、春の全国交通安全運動の一環として、管内居住の小学校高学年児童と高齢者の夜間の交通事故防止を図ろうと「キラキラピカピカ作戦」を計画し、四月六日市川警察署会議室に小学生と高齢者の代表を招き、万が一交通事故に遭ったときには県安協から見舞金が贈られる見舞金付反射材「反射リストバンド」を贈りました。これは、管内の市川大門・三珠・六郷・下部の四町と上九一色村の協力を得て、合計三千四百六



小学生に見舞金付反射材を贈る土橋順子三珠第一支部長等(市川)

#### 高齢ドライバーの安全運転コンクール

##### 上野原安協

上野原交通安全協会(小沢正二会長)では、上野原自動車教習所の協力を得て、四月七日同自動車教習所内で、高齢者ドライバーを開催しました。参加者は、上野原町及び丹波・小菅村に居住する六十歳以上の高齢ドライバー三十八人で、そのうち女性は一二人でした。コンクールは、小沢正



高齢者安全運転コンクールの状況(上野原教習所)

止にきめ細かい配慮をしてきてみると、地域の人々から喜ばれています。その結果、  
○優勝 二六三点  
上野原 矢島 隆(60)  
○準優勝 二三二点  
上野原 小山善信(73)  
のお二人に、上野原警察署長と上野原交通安全協会長連名の表彰状と楯が贈られました。

の講習を受け、このあと学科と実技を競い合いました。学科審査では、〇×回答式の二十五問百点満点を二十分間で競い、実技審査では、教習用の乗用車を運転して場内コースを巡り、これに教習所の指導員が同乗して二百点満点の減点方式で審査しました。

#### 県下各安協で定期総会

正副会長交替の安協も  
県下の各交通安全協会では、五月下旬から六月中旬にかけてそれぞれ定期総会を開催しました。

今年には役員改選期となった安協が多く、正副会長の交替もありました。新しい役員の方々の皆さんの活躍が期待されます。本会の正副会長・監事で交替された方々は次のとおりです。よろしくお願いたします。(敬称略)

協会名	役員名
市川	副会長 依田 孝夫 副会長 相沢 眞 副会長 渡辺 義彦 副会長 内藤 秀雄 副会長 大下 同
南部	副会長 吉田 初利 副会長 仲尾 吉田 副会長 滝 好文 副会長 渡辺 裕
長坂	副会長 伊藤 重忠 副会長 山本 重茂 副会長 田中 千秋 副会長 山本 雅史 副会長 高根 高根
小笠原	副会長 横内 光明 副会長 井上 通男 副会長 高石 茂則 副会長 佐久間 良之 副会長 飯野 長重 副会長 井上 良之
日下部	副会長 萩原 卯平 副会長 大村 政啓 副会長 赤坂 国男 副会長 日原 今二 副会長 谷沢 吉一 副会長 岸本 弘一 副会長 中村 利八 副会長 三枝 貞晴 副会長 中村 寿仁 副会長 古谷 武夫 副会長 内藤 聖雄 副会長 野沢 久吉 副会長 松上 昭雄 副会長 野沢 久吉 副会長 野沢 久吉 副会長 野沢 久吉
塩山	副会長 田中 経策 副会長 清 猛 副会長 分部 明教 副会長 佐藤 嘉太郎 副会長 湯山 喜六 副会長 渡辺 月九 副会長 小林 英彦 副会長 平本 温彦
富士	副会長 天野 雷太 副会長 大森 長吉 副会長 佐藤 重男 副会長 湯山 喜六 副会長 渡辺 月九 副会長 小林 英彦 副会長 平本 温彦
吉田	副会長 湯山 喜六 副会長 渡辺 月九 副会長 小林 英彦 副会長 平本 温彦